
ポスター No.16

コロナ禍でも民間企業と協力！ さがみ典礼の集い

朝霞市福祉部長寿はつらつ課

【説明】

さがみ典礼館長様より、地域の集いの場として活用して頂けたらとお声がけがありました。会場見学をした際の印象は、玄関に入った途端に線香の香りがしたこと、葬祭センター特有の雰囲気がある、正直、集いの場としての活用がイメージできませんでした。協議体会議にてメンバーに周知するも、葬祭センターとご高齢者の相性が悪すぎる、開設当初に互助会の勧誘があった為、それも印象が悪くなかったと意見がありました。活用できる日は『友引』のみの為、清掃員しかおらず、互助会の勧誘はないとフォローするも、誰一人として活用してみようと声がありませんでした。

約2年後、新型コロナウイルスが流行し、活動出来る場所が減ったことも有、事前に館長様の許可を得て、再度協議体メンバーに活用の相談をしました。

一人のメンバーがまずは見学してみよう！と発して下さったことで、話が進み始めました。見学時、やはり会場の雰囲気に驚かれており、私自身も2年前の記憶が鮮明に蘇りました。しかしながら、下記の有難い提示があったことで、とりあえず行ってみることにになりました。

- ・準備、片付け（消毒を含む）はさがみ典礼職員が行う（葬祭グッズは見えない配慮可）
- ・費用は無料 ・音響、テーブル、椅子は自由に使用してもOK
- ・友引の日なら基本的に利用可、午前中のみ
- ・緊急事態宣言が出ていなければ利用可

会場が葬祭センターと伝えると大抵の方は驚きますが、既に顔なじみの方に伝えると、想像していたよりもご参加頂けることがわかり、私自身も非常に驚きました。改めて顔繋ぎの重要性と、既成概念に捉われない社会資源の活用法を学ぶことが出来ました。



「いきがい・助け合いサミット in 神奈川」2021年 出展ポスター